



バグダッドLO日々業務報告(2月14日1830)

| 区 分 | 内 容 |
|-----------|--|
| 1 警戒態勢等 | (1) サマーワに直接影響を及ぼす脅威情報 (2) イラク全域に係る脅威レベル サマーワ及びバスラは、バグダッド及びモスルは、ラマディは |
| 2 特記事項 | な し |
| 3 本日の業務 | 情報収集及び連絡調整 |
| 4 明日の予定 | (1) 情報収集及び連絡調整 (2) SNRレポート、COAレポート提出 |
| 5 その他(備考) | な し |

バグダッド日誌(2月14日)

○インテ・シスメック?(アラビア語で「お名前は?」)

多国籍軍司令部と日本隊の連絡調整を主任務とする私と、毎朝7時30分から実施される「朝の指揮官報告」に参加している。

この時私はMND(SE)の席で、は少し離れた韓国LOの近くの席でこの報告を聞いている。報告終了後、私はコアリション・オペレーション部の事務所へ、は、日本コンテナに戻り報告資料等を整理するのが日課である。

昼食前に日本コンテナに戻ったところ、が「今朝の報告会の時、イラク軍の人と友達になりました。」と私に報告した。話を聞いていると何だか嫌な予感がする。

どんな方が聞いてみると、「禿頭で、チョビ髭のいいオッサンでした。」と言う。更にが言うには「アラビア語で話しかけ、挨拶もバッチリでした。インテシスメック?と名前を聞きましたが、相手の発音が悪くて聞き取れませんでした。階級はいつも座っているイラク人の方が偉そうでしたよ。すっかり友達になりました。」と...

昼食を二人で食べに行くと、が「あそこに座っているオッサンが今朝私の隣に座っていたイラク人です。」と手を振っている。私がある人を確認すると、米軍人も一瞥しているイラク先任連絡官「フダイエ少将」その人であった。私の悪い予感が的中してしまったと思ったが時既に遅し...。少将に挨拶してからを食堂の隅に連れて行き「厳しく指導」した。も「まさか」と思ったらしいが「友達ですから。」と半分開き直っている。

昼食後、食器を片づける所で、またフダイエ少将に出会ってしまったが、にこやかに挨拶してくれた。さすが米軍が一目おだけのこのあるフダイエ少将、失礼な日本人の話しかけにも気さくに答えてくれる懐の深い將軍だと感心してしまった。